

「一人ひとりの社会的自立のためのキャリア教育

～中教審答申（2011年1月）を読み解く～

【開催日】	2012年3月17日
【場所】	高知市青年センター アスパルこうち4階
【参加者】	50名
【講師】	渡辺三枝子

■ 渡辺三枝子氏

明治学院大学教授、筑波大学大学院人間科学研究科教授、同大学キャリア支援室長を経て現在、立教大学大学院教授・筑波大学特命教授（キャリア支援）。

著書：『キャリア教育 自立していく子どもたち』（東京書籍、2008）など多数。

文部科学省の中央教育審議会教育要請部会専門委員、キャリア教育・職業教育特別委員など歴任。

■ 開催概要

2011年、当NPOが高校キャリア教育事業を実施中に出された中教審答申。これからのキャリア教育はどう変わっていくのか？一人ひとりに必要なキャリア教育とは？答申作成に携わった渡辺三枝子氏を講師に、講演会を開催した。

講演タイトルは、「一人ひとりの社会的自立のためのキャリア教育」～中教審答申（2011年1月）を読み解く～として幅広く参加を呼びかけた。

講演後には、参加者全員が本音で話し合い、一緒に学ぶ機会をつくるためにグループワークを実施した。

また、当NPOの高校キャリア教育事業に取り組んだ報告集『とさいろ』を配布し、活動報告も行った。

■講演会内容

◆高校キャリア教育事業報告／人と地域の研究所

【南高校職業別ガイダンス事前学習】

【南高校TOHOインターン】

【サマーフェスタ】

【キーノス活動】

【企業情報誌G-motto】

◆講演／渡辺三枝子先生

◆グループワーク／参加者全員

- ◆ 渡辺先生へ質問
- ◆ 現場では・・・
- ◆ 講演を聞いて深めたい話



■講演会を終えて

年度末の忙しい時期の開催だったが、50名の参加があり、大変貴重な機会を持つことができた。参加者からは、「大変勉強になり、今後取り組む方向が明確になった。」との感想が上がった。

グループワーク後には、「グループで語り合うことで、刺激され、啓発され、学ぶことが多い。解答は得られなくても、解答を得る道が見つかるのではないか。」という先生からのコメントもあった。

子ども達の生まれ育った環境が大きく変わった現代社会で生きていくために、「自立とは、好きなことだけに取り組むのではなく、好きなことも嫌いなことも、未経験のことにも挑戦し、その中から学んでいく力を身に付けること。」という先生の言葉のように、子供たちが今取り組むべきことを支え、共に議論していく必要がある。また、学校が主導権を持ちながら、学校と社会が協力する組織的な体制作りが必須である。

■参考資料

・『キャリア教育は生徒に何ができるのだろうか「自分を社会に生かし、自立を目指すキャリア教育」－高等学校におけるキャリア教育推進のために－』, 国立教育政策研究所, 2010, p.12-13.

・『キャリア教育を創る「学校の特徴を生かして実践するキャリア教育」』, 国立教育政策研究所, 2011, p.14-15.

(文責：山下)